

## 愛知県震度観測・調査報告書―第41報―の概要

### 1 調査の概要と目的

この調査は、地震動の伝わり方や地域特性を明らかにするため、県内全市町村に設置している計測震度計による震度情報ネットワークの震度観測データ等を活用して、2021年1月～2021年12月に発生した地震と震度に関する情報をまとめるもので、防災対策の基礎資料、県民の地震に対する理解を深めるために活用されることを目的として報告書を作成している。昭和56年より1冊/年で発行しており、本書で41冊目となる。トピックスとして、地震調査研究や地震防災に関わる組織についての解説を掲載した。

### 2 愛知県震度観測・調査報告書―第41報―の概要

#### (1) トピックス

- ・地震防災に関わる国の組織とその役割について

地震調査研究や地震防災に関わる組織として、中央防災会議、地震調査研究推進本部、文部科学省、気象庁（南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会）、国土地理院、地震予知連絡会、海上保安庁、国立研究開発法人（防災科学技術研究所、海洋研究開発機構、産業技術総合研究所）、国立大学法人、日本地震学会の役割について解説している。

#### (2) 震度観測資料

##### ア 愛知県における地震

2021年に、県内のいずれかの市町村で震度1以上が観測された地震の発生は21回であり、震度4以上が観測された地震の発生はなかった。

##### イ 国内の主要な地震

2021年に、国内で被害を伴った地震の発生は7回であった。

##### ウ 世界の地震

2021年に、世界で人的被害を伴った地震の発生は32回であり、死者が100名を超える海外の地震の発生は2回あった。

### 3 調査研究成果の活用

調査報告書は、防災会議に報告するとともに、防災関係機関、市町村に配付し、地震防災対策の基礎資料として活用する。

また、県図書館、県民相談・情報センター等に配付し、県民に地震についての理解を深めてもらう。